堺・鉢ヶ峯　「里山一斉調査」報告――２０２３年

報告／酒井　和子

日　時／２０２３年４月９日（日）晴れ　９：３０～１５：００

主　催／鉢ヶ峯の自然を守る会　公益社団公益法人大阪自然環境保全協会・堺自然観察会

参加者／一般参加５組１０人（大人６人、子ども４人）　スタッフ６人　　計１６人

コース／トイレ前（挨拶）～どんぐり広場～鉢塚バス停前～バス道路～圃場整備の農道～果樹畑～東西道路～谷頭池～中央道～タカ見台（昼食）～勾玉の田んぼの上池～第二豊田川沿いの管理道～ふれあいの森・ピロティ（まとめ）

観察・調査／萌黄色の雑木林に満開のカスミザクラ...、好天に恵まれ里山歩きにはもってこいのお日和で、初参加の方々や常連さん、幼、小、中の子どもたちと一緒に多種多様な生きものとの出会いを楽しむことが出来た。

主な観察種／

■トイレ前・どんぐり広場――まずはタンポポ調べ

念のため検温。挨拶では「ここ鉢ヶ峯の里山は３０年程前に起こったゴルフ場開発計画を阻止して守られてきた」との説明があり、コースの紹介後、俊足で訪れた春を探しにスタートした。まずはタンポポ調べから。セイヨウタンポポを手に総苞片の反り返りを調べ、その後カンサイタンポポとの違いを確認する。草地のあちこちにアリアケスミレが咲いている。男の子は網を振ってモンキチョウをゲット。ニィニィと特徴のある鳴き声はヤマガラだ。ヌマガエルも草むらにいた。ナナホシテントウもいるよ。

■鉢塚バス停――タイミンタチバナって、どれ？

バス停裏にこんもり盛り上がっているのは純林に近いコジイ林。この辺りのランドマークになっている。そのコジイ林内ではタイミンタチバナにピンクの小花が咲いていた。堺市レッドリスト種（ＲＬ種）に挙げられている貴重な樹木で、みんなで見上げて観察する。足元にはヒメハギの花。姫、と呼ばれる通りで丈は５ｃｍほど。

■バス道路沿い――ツバメを初認

道路の片隅でヒメスミレを発見。こんな劣悪な環境なのに健気に咲いている。「ツベメ、ツバメ！」の声。民家の門に新しい巣があった。夏鳥の到来だ。

■圃場整備の農道――帰化植物がいっぱい

畑には一面のヤワゲフウロ。ピンクのお花畑になっている。葉をなでると”猫毛”のような肌触り。肥料に混入してやってくるのか農道沿いは帰化種が多い。シロツメクサ・コメツブツメクサ・オオイヌノフグリ・ヒメブタナ・ノジシャ・ナガミヒナゲシ・ヒメコバンソウ・セイヨウタンポポ・オッタチカタバミ・コメツブウマゴヤシ etc.。

田園風景の頭上からヒバリの囀が聞こえてくる。モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ベニシジミなどが花から花へいききしている。

ここでちょっと寄り道。谷津田の用水路に網を入れてみる。スジエビがかかった。

■果樹畑～東西道路――カリンが花盛り

東西道路の上り口にカリンが植樹されていて、ピンクの花をいっぱいつけていた。ここでトイレタイム。東西道路から内河池を双眼鏡で覗いて見ると冬の水鳥のヨシガモが２羽泳いでいた（下見ではオシドリも２羽いた)。向かいの雑木林の緑が初々しく、中に真っ白なカスミザクラがもっこりと咲いていて、里山らしい景観が広がっている。

■谷頭池――天然のビオトープ

東西道路の開発時に２つのため池のうち１つは埋め立てられて人工池が造られたが、谷頭の池は手つかずで残され、古くからの生きものが今に生き継いでいる。網を入れるとメダカが掬えた。堺市のＲＬ種のミナミメダカで、ケースに入れて観察した後「元気でね」とリリースした。東西道路の法面の「明日のコナラ林」がある。１０数年前、みんなでどんぐりを播種して育ててきたミニミニ林。今では７，８ｍに育っている。

■中央道――コバノミツバツツジ、ザイフリボク、クサイチゴの花

観察エリアを南北に抜ける道路で両サイドには鉢ヶ峯の樹種が殆ど揃っている。コナラとクヌギの黄緑色の雄花。ザイフリボクやクサイチゴの純白の花。ミツバアケビの紫色の花、サルトリイバラの緑色の花。コバノミツバツツジの鮮やかなピンクの花...。みんなが歩く前に後ろにウグイスの声。ルリタテハがちらりと姿を見せる。

■タカ見台――遠くに金剛山、近くに満開のカスミザクラ

お待たせしました、やっとお弁当の時間。腰をおろした後ろ側にアケビの花。いい香り！

■勾玉の田んぼの上池――魚がいる！

網を入れてみると３，４ｃｍ位のフナのような魚がかかる。カワバタモロコではないだろうか？古くに（１９９０年代）に確認されているが、「里山一斉調査」で見つけたのは初！後日、専門家によりカワバタモロコと同定して頂いた。

■第二豊田川沿いの管理道――ちょっとワイルドな１本道

川沿いの道は歩きにくい箇所が何か所かある。倒木は３，４人でノコギリを引いて伐採。繁茂しているネザサは事前に刈って下さったので通り抜け可だが、細い１本道。ひどくぬかっているところではズブリと運動靴がはまりそう、とちょっとワイルド。ノウサギの糞を発見。コナラのナラ枯れの光景はさびさびとしていたが、眼前の満開のカスミザクラはそれは見事で、盛んに記念撮影が行われた。

■ふれあいの森・ピロティ――チェックで、里山の多様性を実感

「里山の動植物チェック」をする。植物以外に野鳥や昆虫、魚類に両生類・爬虫類と多岐に亘って確認され、特にＲＬ種が種々観られたこと（別紙参照）は今回の貴重な記録となった。それと生物多様性が実感できたことも大きい。チョウ類では、クロコノマチョウ（森林)、イシガケチョウ（林縁)、ツマキチョウ（草原)、モンシロチョウ（畑）など各種。スミレ類ではヒメスミレ（道端)、アリアケスミレ（湿った草地)、スミレ（畦)、ニオイタチツボスミレ（草地)、ツボスミレ（旧水田）などで、「みんなちがって　みんないい」の金子みすずの詩の一節がうなずける思いだった

里山一斉調査（堺・鉢ヶ峯コース）に参加して

5年生　松島　和輝

今日は、里山一斉調査に行きました。めずらしい植物を見て、花粉をたくさん飛ばす雄花や、きれいな音がする草、スタンプみたいによく色が出る葉っぱなど、いろいろな植物があるんだな、春にはきれいな植物が思っていたよりたくさんあるんだなと思いました。

たんぽぽは二種類あって、まず、せいようたんぽぽは、一つ一つの花が多くてふだんでも見れます。かんさいたんぽぽは、花がちょっと少なくてふだんはあまり見られないように、一つ花にも名前があって、種類も特長もあるんだなと思いました。

こん虫や水の生き物の中で、めだかはまだ野生ではいるという事は知っていたけど、ふつうは店でしかいないと思っていたから、野生でいるのを見て少しおどろいた。野生で生きる生き物を、増やさないといけないんだなと思いました。ちょうちょも、たんぽぽと同じように、いろいろな種類がいるんだなと、改めて思いました。いろいろな事が勉強できて、楽しかったです。

里山一斉調査（堺・鉢ヶ峯コース）

松岡　和美

里山一斉調査に初めて参加させてもらいました。私は自然にとても興味関心を持っていたので、今回の参加をとても楽しみにしていました。どのように行われるのかワクワク・ドキドキ感が満載でした。当日は天気も良くとても心地良い時間となりました。

動植物のチェックでは今まで知らなかったことがたくさんありとても勉強になりました。色々ていねいに解説していただきうれしかったです。

今回参加したことで自然を大切にする気持ちが大きくなり、又、今の仕事（保育教諭）にも今後生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。